

青森県東日本大震災復興基金事業の概要

寄附金額

	5億8,352万5,158円	(H23.3~H24.3)
(内訳)	寄附金	124件 5億4,591万9,562円
	ふるさと納税(寄附金)	226件 3,755万2,596円
	住宅エコポイント(寄附金)	1件 5万3,000円



青森県東日本大震災復興基金の設置(H23.6.30)

基金の目的

東日本大震災に際し県が受け入れた寄附金等により、東日本大震災からの復興のための事業に要する経費及び当該事業を行う市町村に対する補助に要する経費の財源に充てるため設置。

基金の対象事業

- 一 避難所等の防災機能の強化その他の安心で安全な地域づくりに関する事業
- 二 震災復興後の社会を担う子どもの防災教育等に関する事業
- 三 東北各県と連携して行う震災復興の推進に関する事業
- 四 震災復興に取り組む社会的気運の醸成に関する事業
- 五 その他震災復興に関する事業
- 六 市町村が行う震災復興のための事業(補助)

平成23年度実施事業

青森県復興応援感謝フェア開催事業	8,225千円(総合販売戦略課)
防災公共推進事業	20,255千円(整備企画課)
子ども防災力アップ事業	10,454千円(スポーツ健康課)
東日本大震災復興祈念式典開催事業	900千円(生活再建・産業復興局)
計	4件 39,834千円

平成24年度青森県東日本大震災復興基金事業

避難所等の防災機能の強化その他の安心で安全な地域づくり

避難所等機能強化推進事業 75,400千円(防災消防課)
県立学校非常用発電機整備事業 40,200千円(学校施設課)
男女共同参画地域防災体制づくり事業 4,055千円
(青少年・男女共同参画課)
商店街と地域住民による防災力アップ事業 2,712千円
(商工政策課)
県民の緊急時「情報力」強化事業 6,909千円
(情報システム課)

震災復興後の社会を担う子どもの防災教育等

子ども防災チャレンジ事業 9,004千円(スポーツ健康課)
こころを一つにする絆づくり推進事業 5,002千円(生涯学習課)

東北各県と連携して行う震災復興の推進

被災者交流総合支援事業 18,110千円(生活再建・産業復興局)
「心をつなぐ」スポーツ交流支援事業 6,749千円(スポーツ健康課)
震災復興イベント応援事業 7,199千円(東青地域県民局)

震災復興に取り組む社会的気運の醸成

元気な八戸広域観光ののろし事業 7,531千円
(三八地域県民局)
「東日本大震災」記録誌等作成事業 10,000千円
(生活再建・産業復興局)
災害に強いあおもり企業育成事業 4,787千円(地域産業課)

その他震災復興に関する事業

復興ビジョン推進費 22,000千円
(生活再建・産業復興局ほか)

震災復興に関する事業を行う市町村への補助

市町村元気事業 100,000千円(市町村振興課)

平成24年度事業 15件 319,658千円

復興基金事業であることの広報について

復興基金事業であることの広報

ポスター等の広報物や事業の成果物等に右図のような表示を行う
イベント挨拶などでの基金事業であることの告知を行う
などにより事業が寄附金からなるものであることの広報を推奨。



この事業は、東日本大震災に際し、青森県に寄せられた寄附金により実施されているものです。

青森県に寄せられた寄附金は県及び市町村の震災復興のための事業に役立てられています。



青森県東日本大震災復興基金事業



青森県復興応援感謝フェア開催事業

被災県に対する義援金や「食べて応援しよう」運動、企業の社内販売等さまざまな応援・支援を全国からいただいたことに対する感謝メッセージを発信

あおもりの食や観光情報の販売・発信による県産品の販売拡大・誘客促進



1 JR東京駅「復興応援感謝フェア」

会期 平成24年3月16日(金)～18日(日) <3日間>
場所 JR東京駅地下1階 東日本復興支援「お祭りストリート」
主催 東京駅東日本復興支援実行委員会、



委員会構成員：青森県、東日本旅客鉄道(株)、(株)鉄道会館、(株)ジエール東日本企画
(社)青森県観光連盟、(社)青森県物産振興協会

後援 経済産業省、農林水産省、観光庁

協力 社団法人新日本スーパーマーケット協会

実施内容

オープニングセレモニー

(知事から感謝メッセージ発信)

ステージイベント

- ・津軽三味線演奏 / 八戸えんぶり
- ・あおもり紀行キャンペーンスタッフPR
- ・鉄道むすめPR
- ・八戸市議会議員藤川優里氏(八戸ふるさと大使)観光PR

地産品の販売・PR

観光ブース：観光PR

(社)スーパーマーケット協会協力による商談会開催





出展者	高杉そさい研究会（漬け物）、三咲羽や（駅弁）、広船林橋塾（りんご）、 まつむら（せんべい汁）、トコトコ舎（菓子）、大竹菓子舗（菓子） 青森県ローカル鉄道4社、あおもり北彩館、青森県酒造組合
売上	4,210千万円(お祭りストリートで開催された東北5県の中で最高額を達成)
来客数	4,164人(購入客数)

2 「がんばろう東北」応援感謝フェア in あおもり北彩館

会期	平成24年3月11日(日)～18日(日)<8日間>
場所	あおもり北彩館東京店(千代田区富士見)
主催	青森県、(社)青森県物産振興協会、(社)青森県観光連盟
実施内容	



知事感謝メッセージの発信・フェアの告知

(店内のデジタルサイネージや店頭パネルにより、知事感謝メッセージ発信)
新聞折込チラシ(32,000部)、北彩館会員へダイレクトメール(4,000通)
(知事感謝メッセージ発信とフェアの告知)

東北応援コーナー

- 県南地域応援コーナー
- 東北各県の観光PRコーナー
- 東北各県の物産品販売コーナー

ご当地グルメ「八戸せんべい汁」紹介

ふるまい(2日間)/販売(3日間)

地酒(八戸酒造)試飲即売会

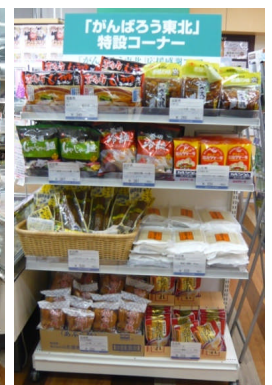
店長厳選30商品20%OFFセール

お楽しみ抽選会

抽選で県南地方の産品詰合せセットをプレゼント

県産品購入者への記念プレゼント

特製「決め手くんストラップ」プレゼント



告知チラシ持参のお客様が初日から多数来場し、せんべい汁のふるまいには行列。黒ニンニク、水産加工品等まとめ買いのお客様が目立った。

売上高	6,683千円(835千円/日)	23年度平均日販: 616千円
来客数	3,246人(405人/日)(購入客数)	23年度平均来客数: 359人

「がんばろう東北」 応援感謝フェア

平成24年
3/11(日)~18(日)
あおもり北彩館 東京店

東北の元気、
日本の元気を
青森から



店長厳選 人気30商品を 特別価格 **20% OFF!!** で大提供!



岩木屋 山菜にしん

1袋 420円(税込)

地元で採れたフキや山菜・にしんをピリッと辛く仕上げました。にしんの脂が山菜にしみにみこみ、よりいっそう風味が豊か。



中清食品工業 かつお風味にんにく

1袋 420円(税込)

青森にんにくをかつお・味噌・蜂蜜などでさらに美味しく味付け。無臭でコクのある味わい。



ラグノオささき りんごスティック

4個入り 480円(税込)

青森県産りんごを大きめにカットし、スポンジ生地と一緒にそのままパイで包みました。

お楽しみ抽選会

フェア期間中、
1,000円以上お買い上げの方に
抽選で青森県産品ギフトが当たる!!

青森の正直
グルメギフト
セット

10名様



田子
にんにくカレー
3缶セット

20名様



3/16(金)17(土)
青森のお酒
青森県内酒造メーカー等による店頭販売

八戸
八戸酒造(株)
陸奥八仙
特別純米
720ml 1,365円

八戸
八戸酒造(株)
男山
超辛純米
720ml 1,312円

「がんばろう東北」特設コーナー

八戸を中心とした
県南地方の商品コーナー

八戸市
中村漁業部
「鮭トバ」

東北各県のアンテナショップ
人気商品コーナー

東北各県の観光情報コーナー



りんごジュース無料クーポン [期間] 3/11(日)~18(日)

りんごジュース
無料お試し券

お名前 住所



東北の元気、
日本の元気を
青森から

青森県産。
決め手は、

「がんばろう東北」 応援感謝フェア

平成24年 **3/11日**～**18日** あおもり北彩館 東京店

首都圏の皆様には、昨年3月の東日本大震災以降、
復興に向けた多くの心温まる励ましと、御支援を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。
今後の復興には、長く険しい道のりが予想されますが、
「東北の元気、日本の元気を青森から」の心意気で、力強く歩んで参ります。
震災から1年の節目を迎え、これまでいただいた応援への感謝の気持ちを込めて、
「『がんばろう東北』応援感謝フェア」を開催させていただくことにしました。

青森県知事 三村申吾

せんべい汁

南部町のお母さん達の手作り！
本場の家庭せんべい汁をご賞味いただけます。

無料振る舞い
3/11(日)・12(月)
[1回目] 12時～ [2回目] 15時～
(1回 100杯限定)

販売
3/13(火)～15(木)
1杯 200円(1日 100杯限定)

フェア期間中、当店で
お買い物いただいたお客さまに

決め手くん ストラップ プレゼント!

先着4,000名様

さらにスペシャルプレゼント!
期間: 3/13(火)～15(木)
「せんべい汁」をお召し上がりの方に

被災県ゆるキャラ ストラップ プレゼント!

いずれかひとつ

あおもり
北彩館
東京店



あおもり北彩館 無料メルマガ会員募集中!

- ① 右のQRコードからsreg@temoba.comへ空メールを送信。
- ② メール返信が届いたら、**ショップID(105122)**を入力し登録完了画面へ。
- ③ 登録完了メールに当たりが出たらプレゼントを差し上げます。

※ドメイン指定受信の設定をされている方は、(temoba.com)からのメールを受信可能にしてください

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目3-11 (青森県会館1階)
TEL.03-3237-8371 FAX.03-3237-8372 [営業時間] 10:00～19:30
JR総武線・飯田橋駅西口より3分
東京メトロ・有楽町線飯田橋B2a出口より4分、東西線飯田橋A4出口より6分、南北線飯田橋B2出口より4分



決め手は、青森県産。

防災公共推進事業

～平成23年復興基金事業成果報告～

平成24年6月6日

県土整備部

これまでの経緯

岩手・宮城内陸地震を教訓に、大規模地震発生時に起こる津波・土砂崩れなどの複合的な災害を想定し、孤立集落の解消を図るための調査を実施

各所管(道路、土砂災害、農林等)で把握している危険箇所を横断的なデータとして集積
各地区の危険箇所を統合した被災想定マップを作成し、ソフト・ハード対策を総合的に検討



今後の防災対策への活用のため、各機関(県その他機関や市町村)へ
情報提供(情報共有)

H23年度の実践

東日本大震災の教訓

- ・人命を守ることを最優先に、「逃げる」という発想を重視した防災対策の推進
- ・各機関の情報共有から踏み込み、防災インフラの整備と危機管理体制強化を関係機関一丸となって加速させる必要がある。

大雨災害の頻発

- ・全国各地で集中豪雨による災害が頻発していることから、地震・大雨といった自然災害全般に対応できる防災対策の実施が必要

H23年度の実践内容

- ・大雨災害に関わる危険箇所の集積により課題の把握を実施
避難経路の課題と孤立集落の抽出
- ・人命最優先の観点から、これまでの実践を深化させ、避難所の課題も把握
(地震・大雨)



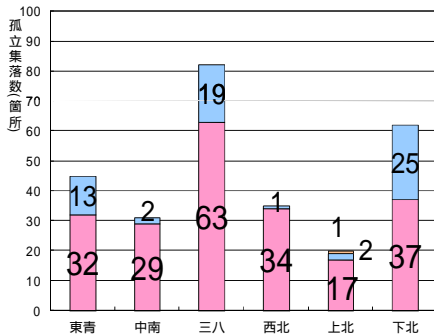
調査結果

孤立する恐れのある集落・避難所の分布

孤立とは、
集落・避難所～役場（支所）へのすべてのアクセス道路に
危険箇所が隣接し、すべて被災した際に、道路交通による
流通が不可能となる状態

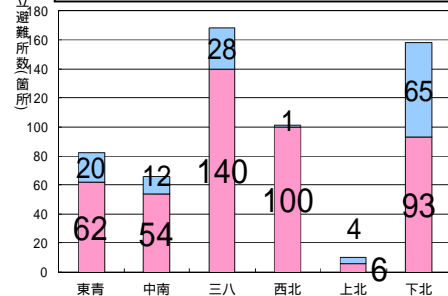
孤立するおそれのある集落 275集落

- 地震・大雨の両方を要因として孤立する恐れのある集落
- 大雨のみを要因として孤立する恐れのある集落
- 地震のみを要因として孤立する恐れのある集落

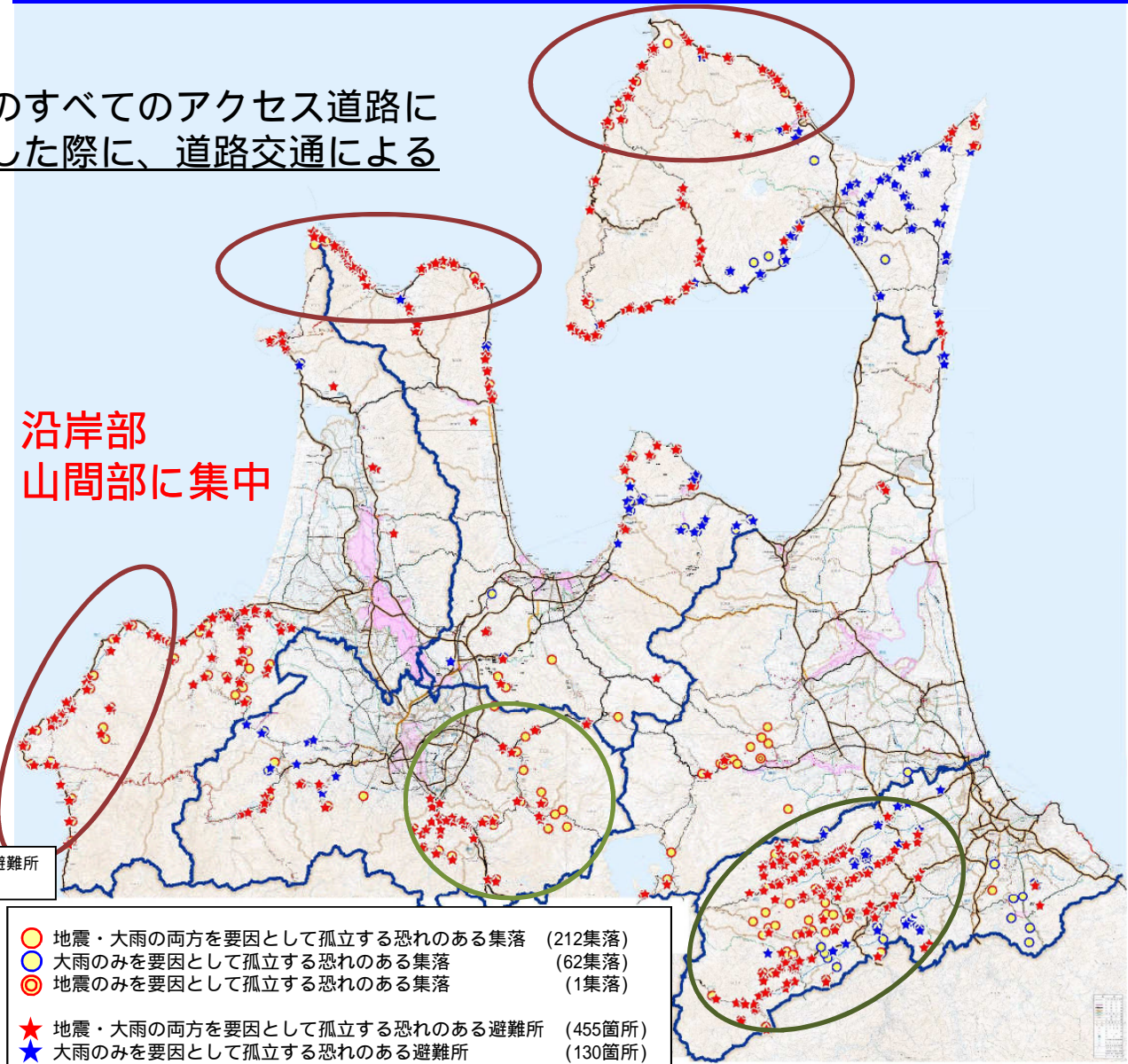


孤立するおそれのある避難所 585箇所

- 地震・大雨の両方を要因として孤立する恐れのある避難所
- 大雨のみを要因として孤立する恐れのある避難所



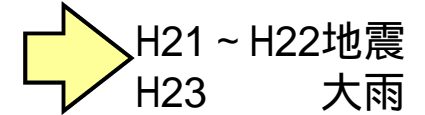
沿岸部
山間部に集中



今後の取組

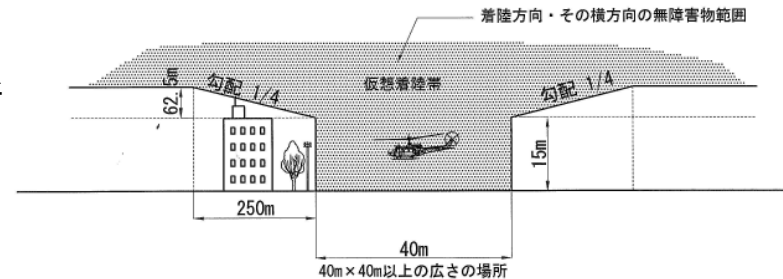
1. 現状認識と共有

- 各管理者が把握している大規模災害時(地震、大雨等)の危険箇所情報の面的、横断的な共有による現状認識の統一
- 現状の避難経路や避難場所等についての総合的な課題の洗い出し



2. 臨時ヘリポート候補地調査

- 災害はいつ何時発生するかわからないため、孤立集落・避難所への、物資などの輸送手段の確保が重要
- 災害時に防災ヘリコプターが離発着可能な臨時ヘリポートの候補地が集落・避難所付近にないか調査



場外離発着場の条件(災害時の例)

3. 防災公共推進計画の策定

- 最適な避難経路、避難場所を市町村、県が一体となって地域ごとに検証
- 現状に即した最も効果的な避難経路(国道、県道、市町村道、農道、林道等)、避難場所(既設避難所、交流施設、道の駅等)を確保するための重点的インフラ整備対象を設定(横断的連携による効果の早期発現)(孤立集落・避難所は、今回の調査結果を基に、真に対策が必要な集落・避難所を抽出し、対策を検討)

計画策定の実施方法

庁内ワーキンググループにおいて、避難経路、避難場所の検証方法等、基本方針を設定

各県民局単位においてもワーキンググループを設定
各市町村単位で計画を策定

県民局単位のワーキングにおいて
検討地区(集落単位)を抽出
(ex孤立集落、津波浸水地区等)
検討地区ごとに、課題の確認、対策案・優先度を検討

<平成23年度青森県東日本大震災復興基金事業の成果報告について>

子ども防災力アップ事業

【1 目的】

これまでも本県では、地震等の発生により被害を受けており、今年3月の「東日本大震災」により、県内各地において甚大な被害に見舞われ、これを契機に、自らの命を守るための適切な判断力を養うことの重要性が再認識されたところである。今後も地震等の自然災害がいつ発生するかわからない状況にある中で、将来を担う子どもの安全を確保することはもとより、同様の災害が発生した際に、自ら考えて適切な行動ができる子どもの育成が大変重要であることから、より一層子どもの防災意識の向上及び防災教育の充実を図るため子ども防災力アップ事業を実施。

【2 取組内容】

- (1) 小・中・高等学校及び特別支援学校における児童生徒の防災意識向上のための取組

子ども防災力アップ宣言

県内全ての小・中・高等学校及び特別支援学校において、児童生徒一人一人が防災のために「今できること」「今後やっていくべきこと」について考えをまとめ、ポスターに貼ってクラス等で展示。



防災の木の植樹

県内全ての小・中・高等学校及び特別支援学校において、震災の教訓を引き継いでいくための植樹。

- (2) 青森県子ども防災推進大会の開催

県民に子どもの防災力アップの重要性を認識してもらうとともに、子どもたちの防災意識の一層の向上を図るため、県内の小・中・高等学校及び特別支援学校の代表を一堂に会して開催。

日時 平成23年10月22日(土) 10:30~15:30
 場所 青森県観光物産館アスパム、青森県災害対策本部室
 内容 防災に関する展示・体験コーナー(起震車等)
 防災スタンプラリー
 子ども防災塾及び子ども防災宣言・防災の木の植樹
 災害対策本部での模擬体験 等



開会式



子ども防災塾



防災の木の植樹



展示



子ども防災宣言



災害対策本部室での模擬体験

(3) 防災教育指導者研修会の開催

教職員及び市町村教育委員会等の担当者の資質向上を図るための研修会を実施。

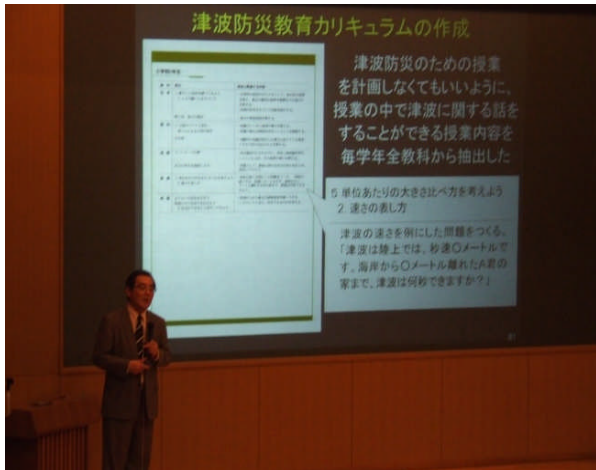
日時 平成23年9月9日(金) 10:00~12:00

場所 青森県総合学校教育センター 大研修室及び中研修室等

対象 幼・小・中・高等学校及び特別支援学校の校(園)長及び教員、
市町村教育委員会担当指導主事、PTA、関係団体等

内容 講演 演題 「想定外を生き抜く力」
命を守る主体的姿勢を与えた釜石市津波防災教育に学ぶ
講師 群馬大学広域首都圏防災研究センター
センター長 教授 片田 敏孝
「避難3原則」
「想定にとられるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」

参加者 430名



(4) 「学校における防災教育指導資料」及び「青森県版防災教育教材DVD」の作成
 「防災教育指導資料」は、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の教育活動全体で活用できる実践的な授業等の展開例などをまとめたものであり、小・中・高等学校のそれぞれの発達段階に応じた資料を作成。

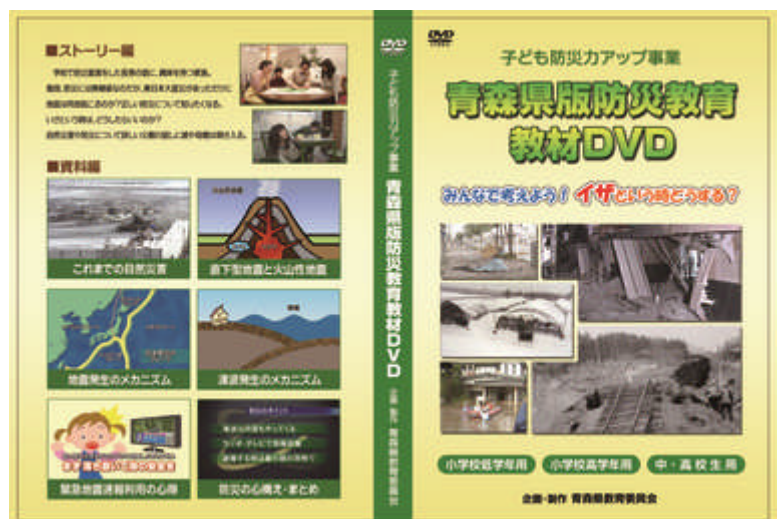
「青森県版防災教育教材DVD」は、防災教育指導資料を用いた授業を実施する場面及び避難訓練後等に活用できるよう、青森県のこれまでの自然災害、地震及び津波発生のメカニズム、防災の心構えや対応等の内容が盛り込まれたDVDを製作。

(配付部数)

学校における防災教育指導資料	公立小・中・高・特別支援学校	各クラス	1冊
青森県版防災教育教材DVD	公立小・中・高・特別支援学校	各校	1枚



【学校における防災教育指導資料】



【青森県版防災教育教材DVD】